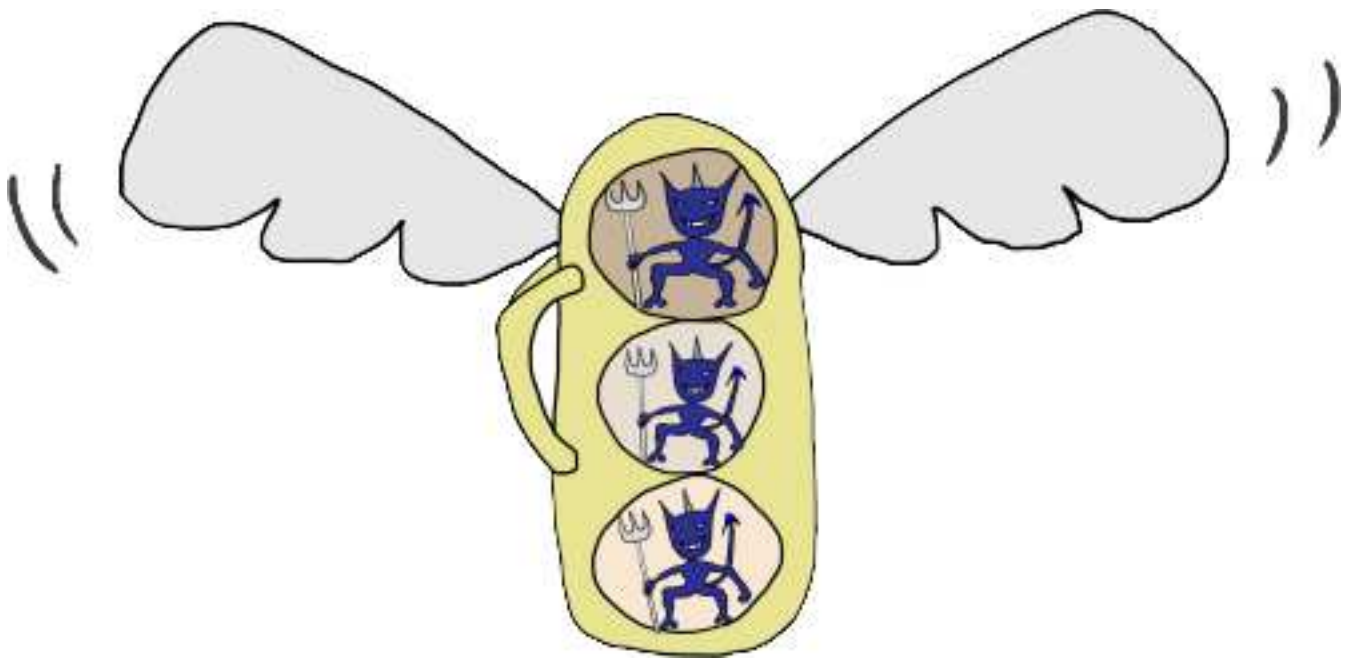


罪と罰の イメージ



東郷 潤

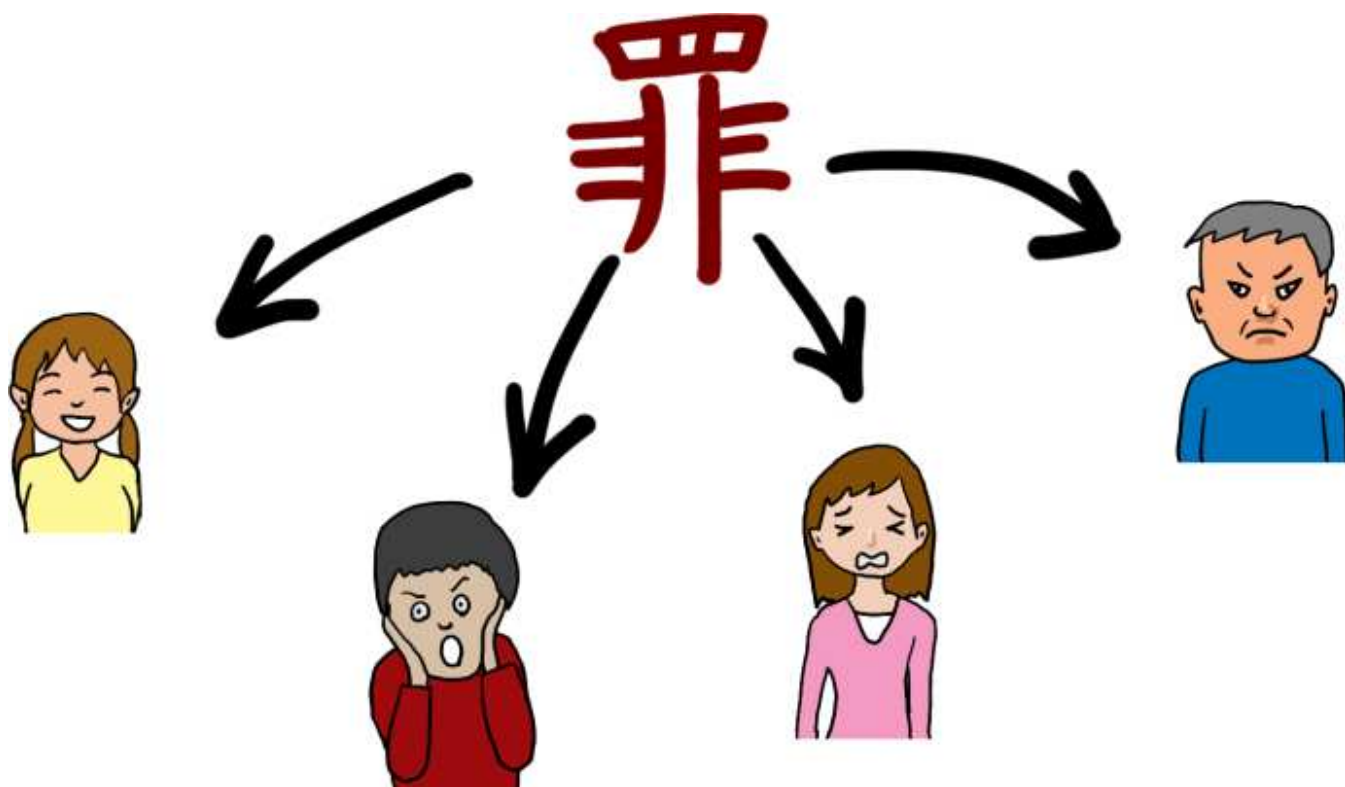
みなさんは**罪**に、どんなイメージを持っているでしょう？

罪



本当の**罪**とは何か？ ……そんな難しい話ではありません。宗教的な真実や神様とも無関係な話です。

ただ単に人々が持つ、言葉のイメージの話です。



これが分かると**罪**という言葉が人間に与えるであろう、「心理的な効果」を推測できるのです。

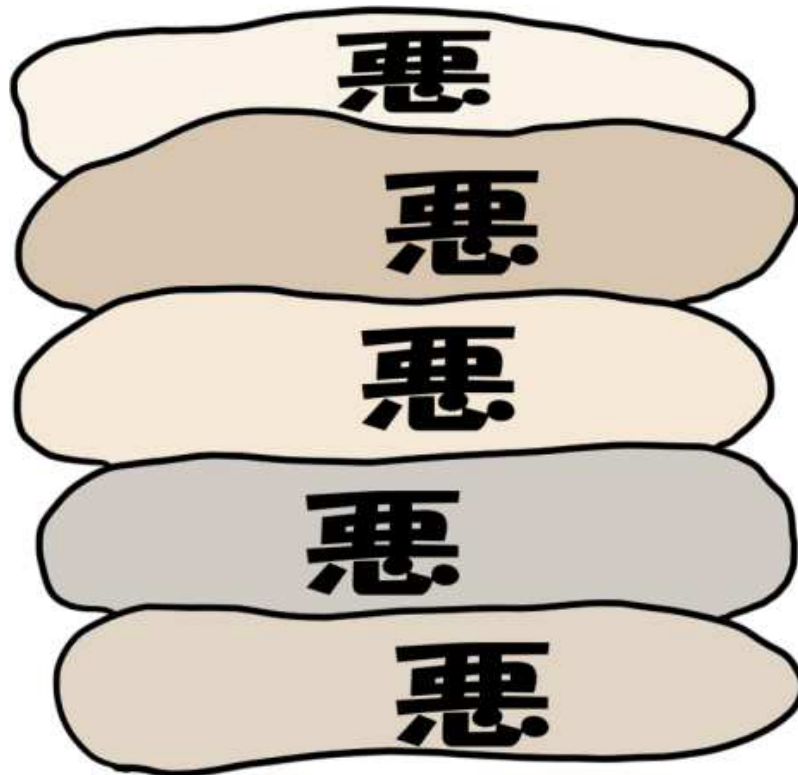
罪は悪と密接に関係した言葉、そんなイメージはありませんか。

悪 → 罪

もし悪という言葉が無ければ、**罪**という言葉は存在すらしないかも？

~~悪~~ → 罪

「**罪**はその人が積み重ねた悪」、そんなイメージも有りませんか？



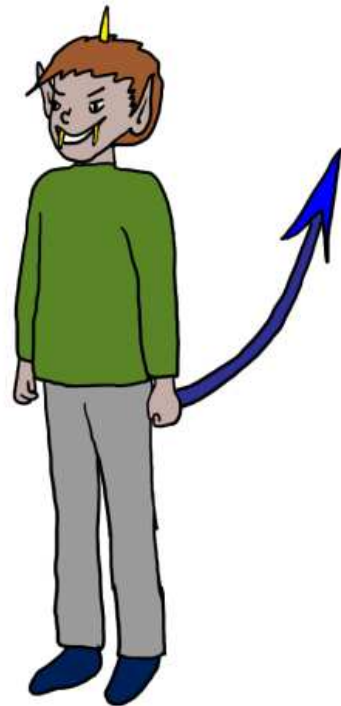
実際、「奴は、悪そのもの」と言っても、
「奴は、**罪**そのもの」とは言いません。
人は悪になれても、**罪**にはなれないの
かも知れません。ⁱ

罪には人が背負うものというイメージもありますね。一方で悪は背負うものではありません。悪は、**罪**よりも人・行為の本質というイメージでしょうか。

罪

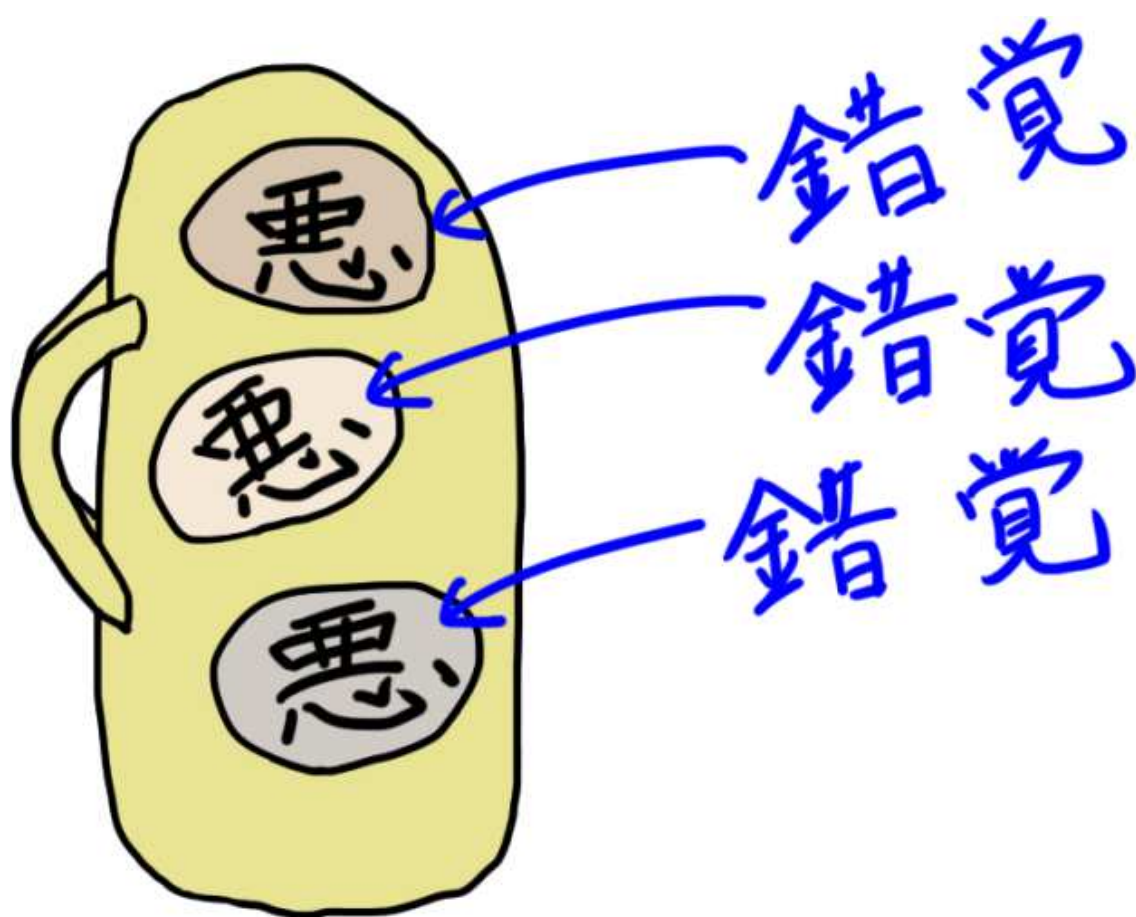


悪

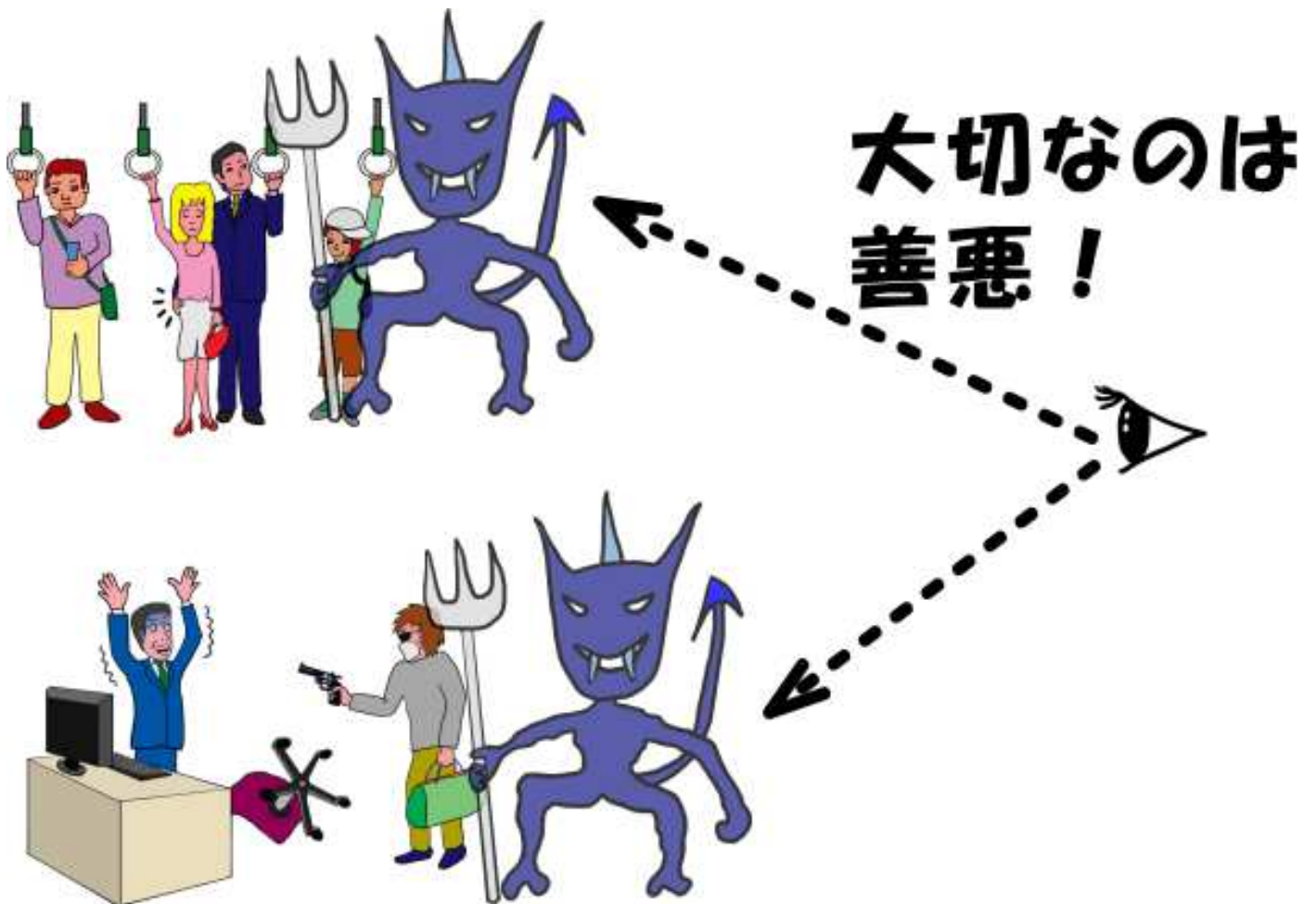


いかがですか？ ここまではあなたが持つ**罪**のイメージと近いでしょうか？

次は**罪**と善悪の錯覚ⁱⁱとの関係です。もし、**罪**が悪の積み重ねというイメージなら、善悪の錯覚も積み重ねられるかもしれません。



ここでいう錯覚とは、善悪の二分類に集中して、異なる事象（とその詳細）を、類似のものとして見てしまうということです。

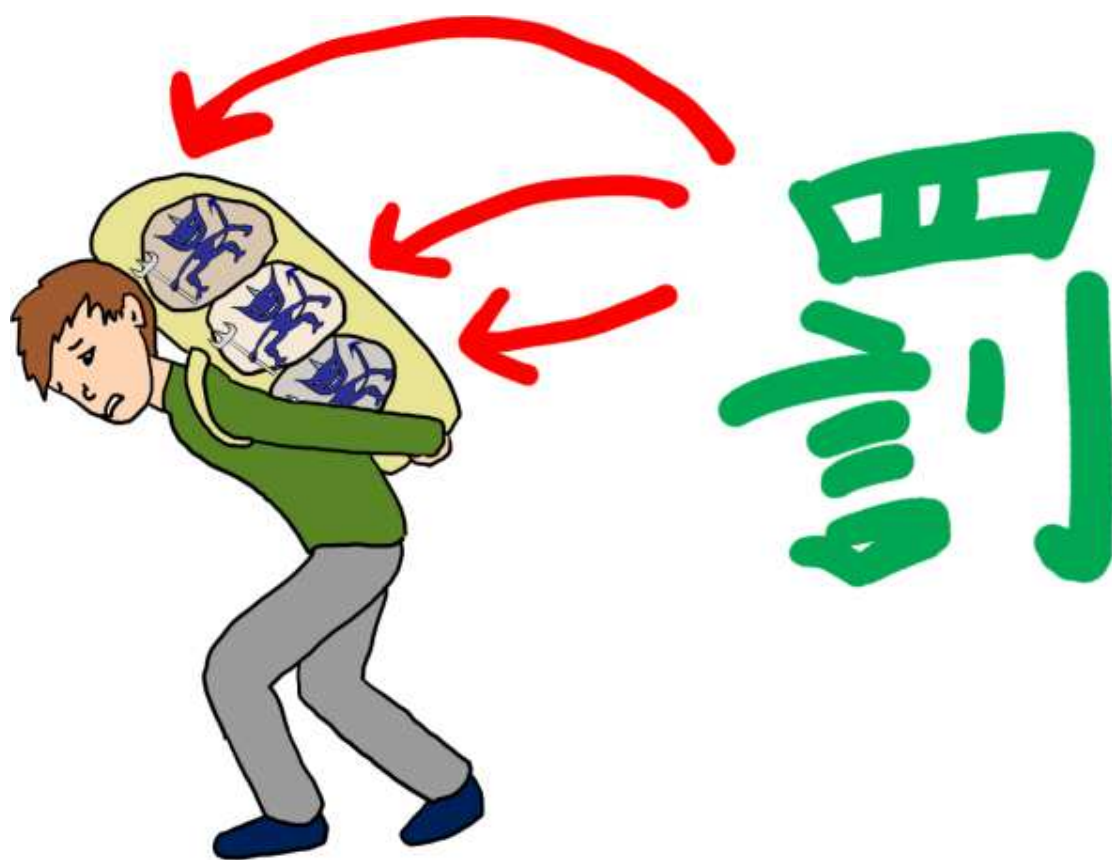




悪いことは
悪いんだ！



次は**罪**と**罰**との関係です。**罰**は**罪**に対して下すものというイメージも、多くの方がお持ちですね。



その場合、**罰**にもまた善悪の錯覚が引き継がれる可能性があります。

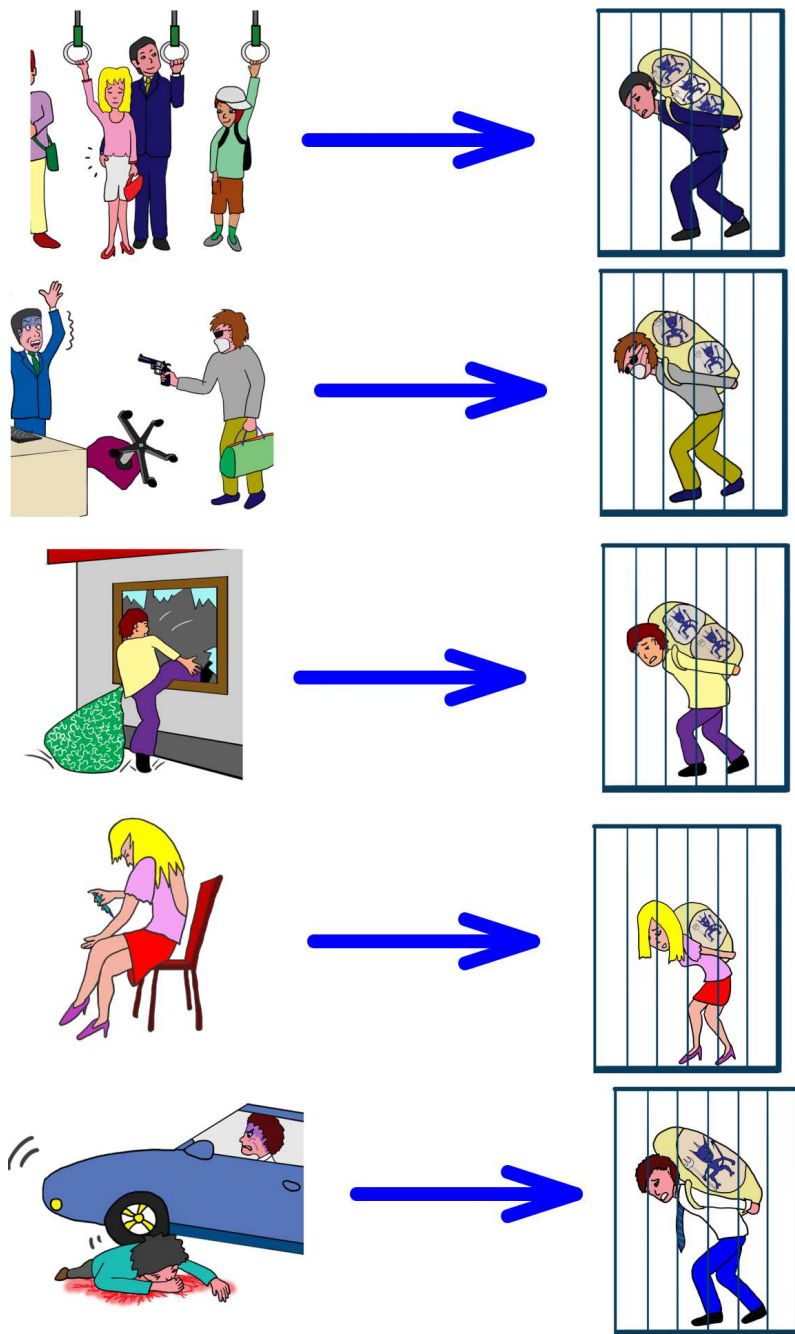
つまり、**罪**を**罰**する時、具体的な**罪**の中身は、見えにくくなるかもしれないということです。



改めて考えると、原因も事象も異なる
罪への**罰**が、全て一緒って不思議に感
 じることはありませんか？ⁱⁱⁱ

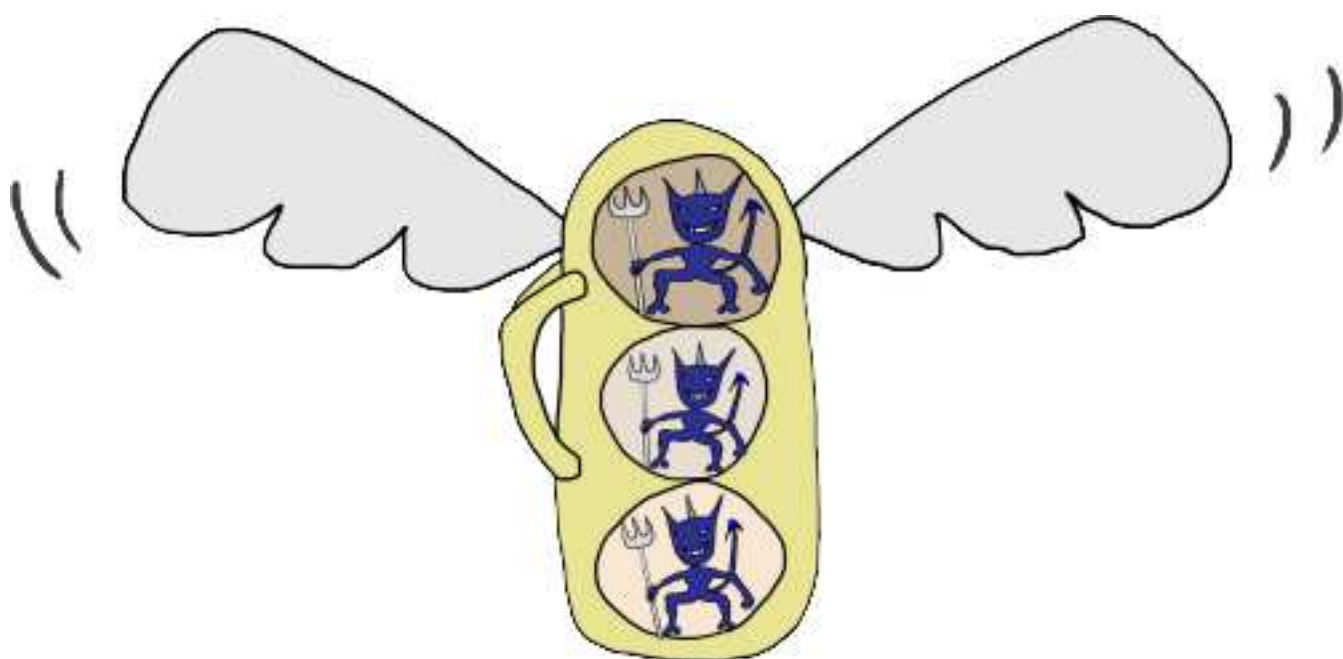
罪名	刑罰
恐喝罪	十年以下の懲役
詐欺罪	
特別背任罪	
覚醒剤所持	
窃盗罪	
強制わいせつ罪	
拳銃など不法所持	
有印公文書偽造罪	
虚偽告訴罪	
児童買春等目的の人身売買等	
電子計算機使用詐欺罪	

罪の種類や原因で、対応を変える必要は無いのでしょうか。



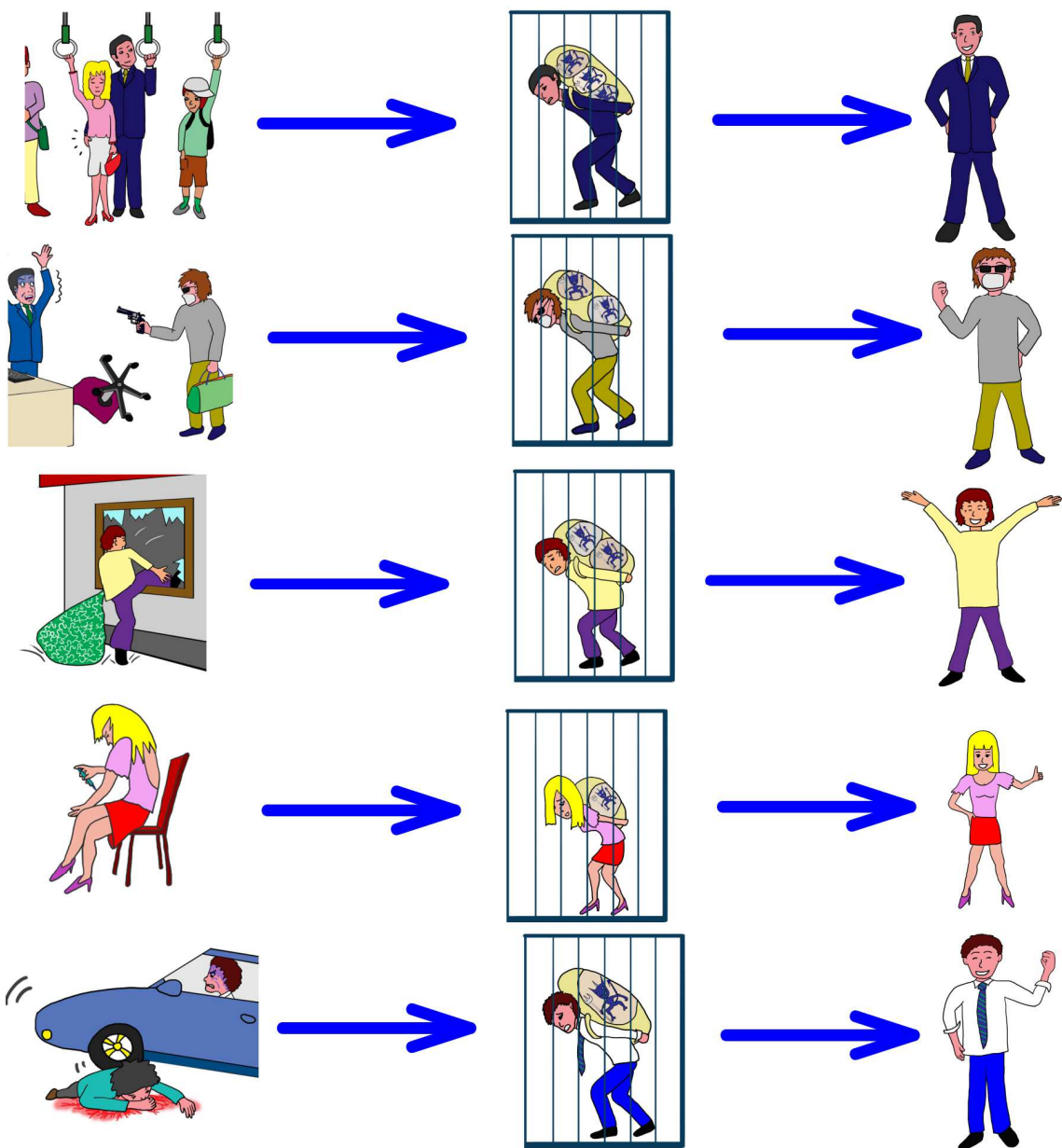
重要なのは、**罪**を**罰**して「償わせる」ことなのでしょか。

では「**罪**を償う」という言葉のイメージについて考えてみましょう。



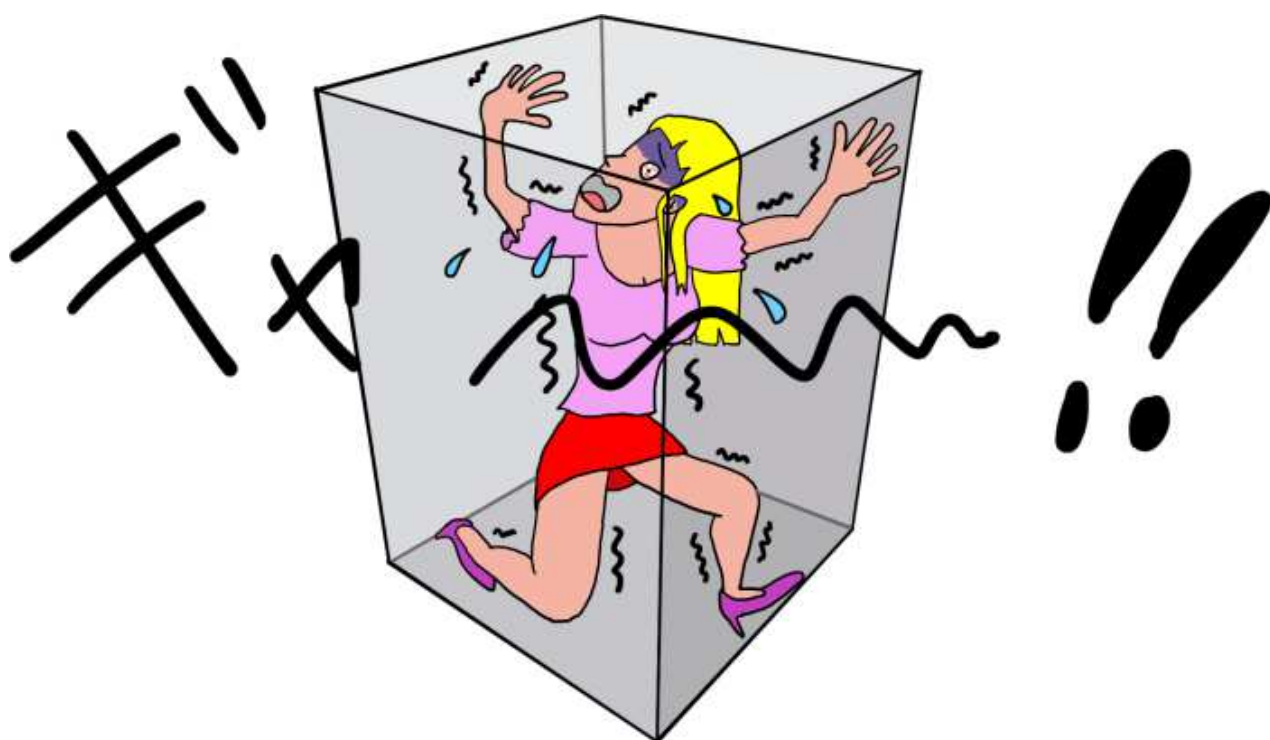
罪の償いのイメージは、償えばその分**罪**が軽くなる。十分に償えば**罪**が消える・許される。**罪**が消えれば罪人は普通の人に戻る、でしょうか。

では具体的に、刑務所に犯罪者を閉じ込めると何が普通になるのでしょうか？



痴漢も強盗犯も麻薬中毒者も、自動的に普通の人になるのでしょうか？

収監は社会からの隔離であり、**罰**の恐怖は再犯防止に有効なこともあるでしょう。でもそれは犯罪の原因解決や被害者救済や犯罪者の更生ではありません。



閉所恐怖症は増えそうですが・・・

実際、**罪**の償いという言葉に関して、
明確なイメージをお持ちの方は、少ない
かもしれません。よく分からない**罪**
の償いのために**罰**するのなら、**罰**の目
的も結局は何なのか、よく分かりませ
んね。



目的が不明なら、その効果も見えませ
ん。効果が見えなければ、たとえば再犯
防止の工夫などもなかなか進まないか
も知れません。

さらに、**罪**には別の錯覚効果もありそうです。それは人への攻撃を、あたかも**罪**への攻撃のように錯覚するというものです。



人に対して残酷なことをするのは辛いものです。**罪**のイメージを利用した錯覚は、この辛さを軽減するかも知れません。

もちろん、人々が持つ**罪**のイメージは全く同じではありません。それでも**罪**のイメージに邪魔をされ、大事なこと（**罰**の副作用、犯罪の原因解決、被害者の救済など）が見えなくなっている人は、きっと少なくないでしょう。



罪という言葉、
少し使うのをやめて
みませんか？

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017

i 厳密な話ではありません。「罪深い人＝とても悪い人」というイメージも成立するでしょう。また原罪といえは、より人に近いイメージが生まれそうです。なお宗教的真理とは無関係な話ですので念のため。

ii 善悪の錯覚の詳細については、善悪中毒なり、平和の絵本をご参照ください。

iii 表は正確なものではありません。